第4章
観光資源の活用

首都圏とその周辺には、世界遺産の富士山・日光・富岡製糸場をはじめ、観光資源が豊富にあります。

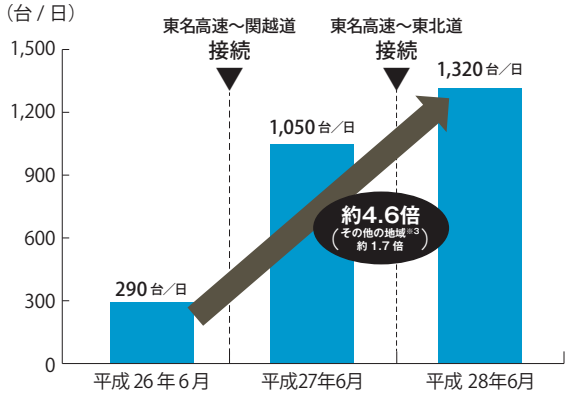
圏央道は、これら観光資源のアクセスを大幅に向上させ、観光交流を拡大するとともに、魅力ある周遊ツアーを可能にしています。

これによって、地域経済の振興とともに、インバウンド観光の活況といった効果が既に現れています。

さらに圏央道が東名高速から東関東道までつながることで、成田国際空港のアクセスが向上し、世界とつながる観光資源の活用に期待が高まっています。

①海のない北関東から湘南が身近に

首都圏北西部※1から高速道路で湘南エリアを訪れた交通量※2



出典：NEXCOデータ（休日）
※1 首都圏北西部（圏央道利用が想定されるエリア）：東京都西部・群馬県・埼玉県西部・栃木県の合計
※2 湘南エリアを訪れた車両：茅ヶ崎本線、茅ヶ崎西IC、茅ヶ崎海岸ICから出入したETC車（休日、小型車・二輪車含む）を1/2したもの
※3 その他の地域：茨城県・埼玉県東部・千葉県・東京都東部・神奈川県・山梨県の合計

広域的な観光交流

平成27年10月には圏央道が東名高速～東北道の4つの高速道路を結んだこともあり、栃木・群馬県等の首都圏北西部から湘南地域への高速道路利用の交通量が、開通前の平成26年から2年後には約4.6倍に増加しています①。また、箱根町では平成27年6月の火山活動で落ち込んだ観光客数が回復傾向にあり、圏央道による来訪増に期待を寄せています。

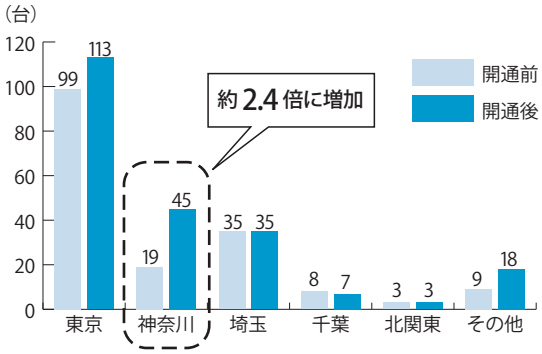
一方、神奈川県からの来訪者が2.4倍に増加したのが、東京都と山梨県にまたがる奥多摩湖です②。海老名JCTから奥多摩湖への休日の所要時間が、相模原愛川IC～高尾山IC間の開通により、129分から95分へ約3割短縮した効果とされます。また、栃木県の鬼怒川温泉の旅館関係者は、「開通後の

湘南　神奈川県の相模湾沿岸の湘南地域は、温暖な気候と風光明媚な景色に恵まれ、古くからの観光地として全国各地から多くの人が訪れています。

平成27年11月は台風の影響で宿泊客数が前年比5%減ったものの、神奈川県内からの宿泊客数は2割増加した」と話しています③。

　また、圏央道の開通は首都圏だけではなく、新潟出発で富士山・箱根・鎌倉を周遊するバスツアーが好評を得るなど、高速道路ネットワークを活用した観光交流が拡大してきています。

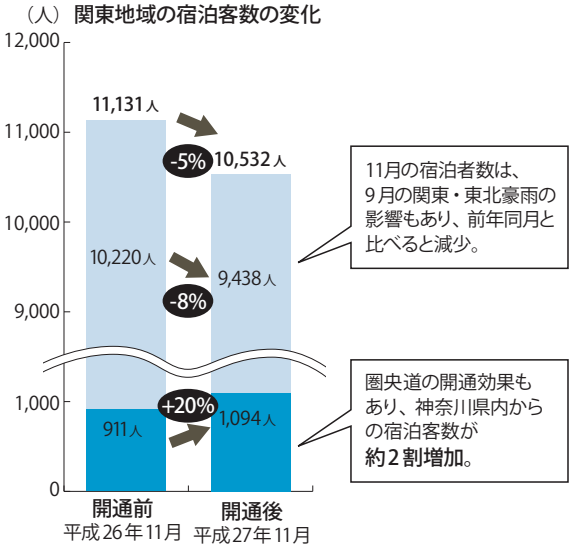
②奥多摩湖への神奈川県からの来訪車数の推移



出典：国土交通省データ（奥多摩湖駐車場における駐車台数・車籍地調査結果による車両台数）
開通前：平成25年6月15日（土）
開通後：平成26年11月15日（土）

奥多摩湖

③鬼怒川温泉 あさやホテル関係者の声

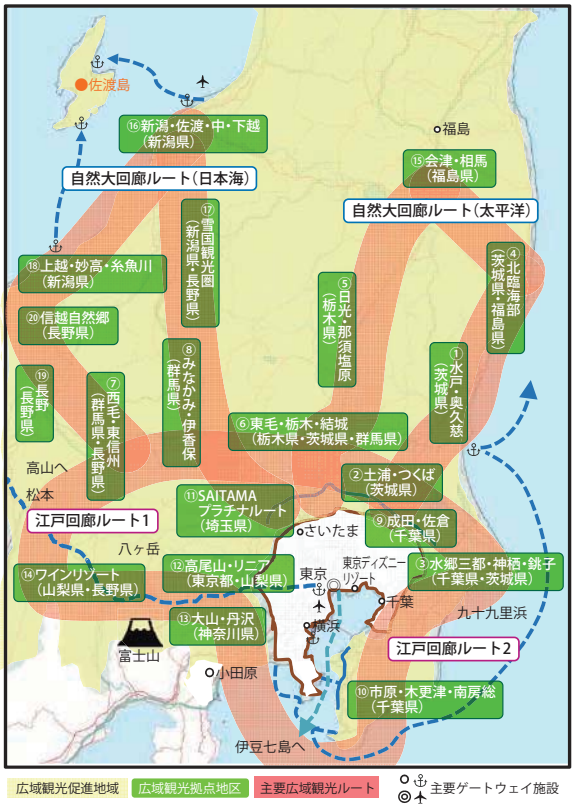


出典：平成27年12月ヒアリング調査（大宮国道事務所調べ）

鬼怒川温泉

①広域関東周遊ルート「東京圏大回廊」
The Wider Kanto Route “Around Tokyo”

対象地域（11都県：福島県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県）



出典：広域関東周遊ルート「東京圏大回廊」The Wider Kanto Route “Around Tokyo” 形成計画概要（関東観光広域連携事業推進協議会）

外国人観光客の周遊性の向上

広域関東周遊ルート「東京圏大回廊」が、国土交通大臣により平成28年6月に「広域観光周遊ルート形成促進事業」の一つに認定されました①。申請した関東観光広域連携事業推進協議会では、11都県の広域観光促進地域の外国人延べ宿泊者数を、平成32年度末までに約2.5倍（1,609万人泊）以上に増やす目標を掲げています。

常磐道から東関東道が圏央道によってつながったのを機に茨城県が、成田国際空港からのアクセス向上のPR活動を展開。また、成田国際空港から水戸を経由するバスツアーを年に2本から40本に増便する旅行会社もあり、茨城県周遊ツアーの催行数と催行人数がともに約4倍に増加しています②。こうしたことからも茨城県の外国人宿泊者数は、開通前の平成26年から2倍以上に増え、全国34位から29位へ躍進しました③。

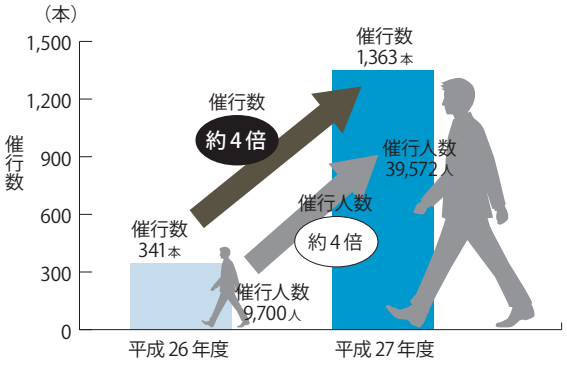
また、平成27年10月には圏央道が東名高速～東北道の4つの高速道路を接続。これにより、首都圏近郊の観光地が効率よ

成田国際空港　外国人入国者数が約612万人（平成27年）と、インバウンド観光客の日本最大の玄関口となっています。

く周遊できるようになりました。外国人観光客に人気の富士山や日光も、成田国際空港から都心を通過せずにアクセスできるほか、同じく世界遺産の富岡製糸場にも立ち寄れます④。

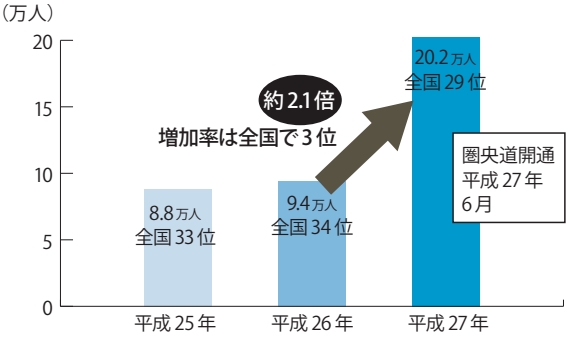
　実際、日光市では東名高速からの交通利便性が向上し、日光東照宮四百年式年大祭と相まって、外国人宿泊者数が2年間で7割増加しました⑤。今後インバウンド観光の首都圏の広域的周遊に期待が集まっています。

②茨城県周遊ツアー催行数と催行人数の推移



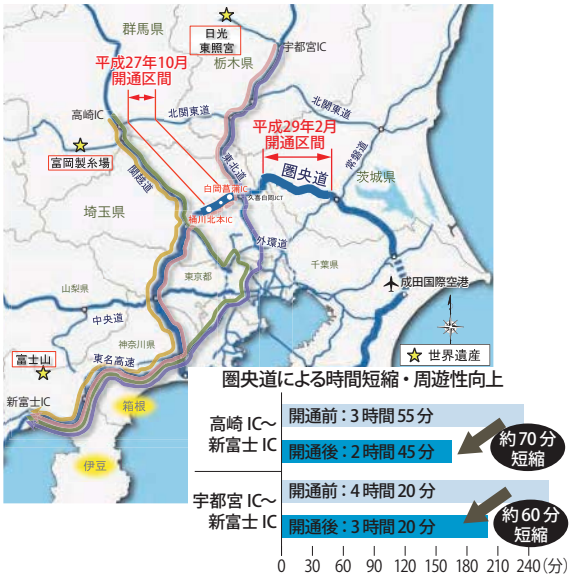
出典：茨城県より提供

③茨城県の外国人宿泊者数の推移



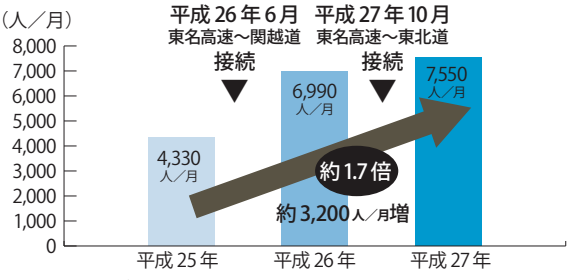
出典：観光庁 宿泊旅行統計調査

④世界遺産間の移動効率がアップ



所要時間：平成22年度道路交通センサスより算出
（ただし、平成22年度道路交通センサス時に開通していなかった圏央道については制限速度（80km/h）川本北～白岡菖蒲区間は設計速度（100km/h）を用いて算出した）

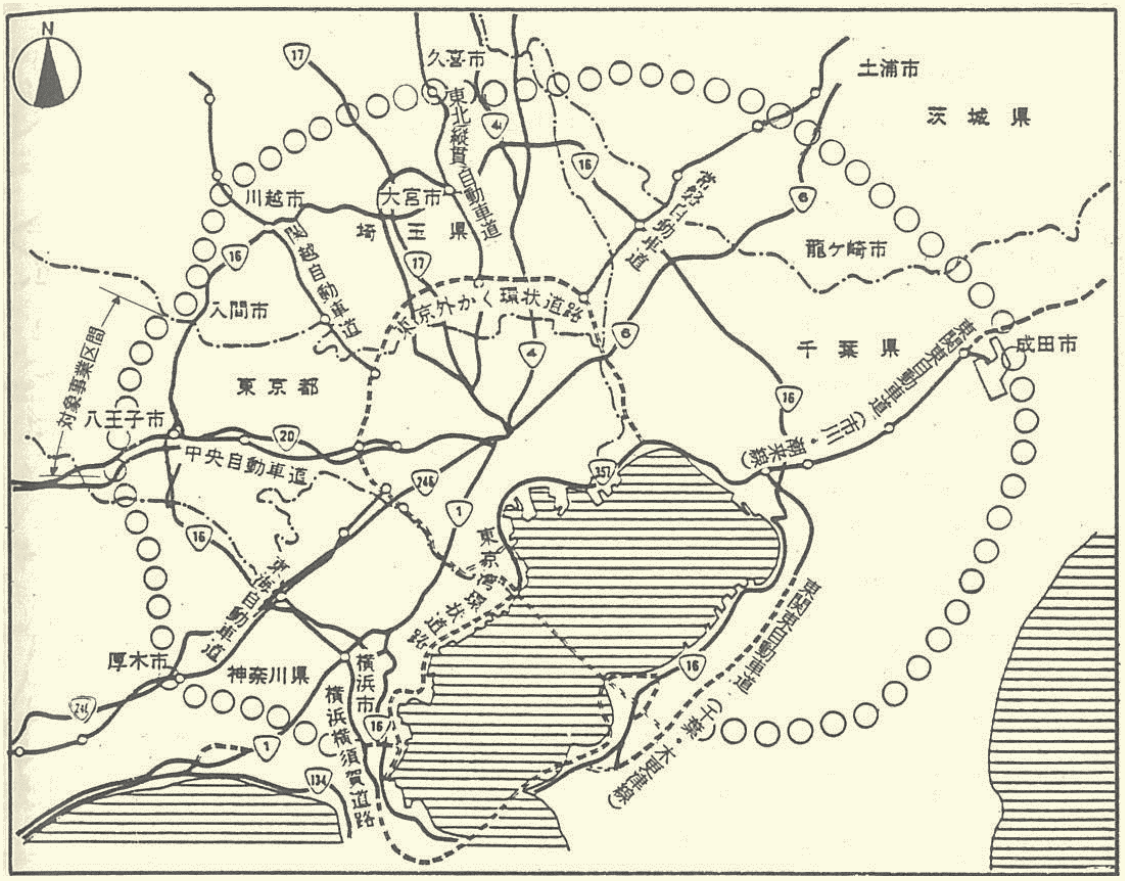
⑤日光市の外国人宿泊者数の推移



出典：日光市提供データ
外国人宿泊者数：日光市内の宿泊施設に泊った外国人客数（各11月、12月の平均値）

首都圏基本計画（第四次）
昭和61年（1986年）

東京中心部において都心とこれを取りまく複数の副都心から成る都市構造を形成するため、これら相互の円滑な連携に資する交通体系の整備を図る。このため、道路については通過交通の迂回等にも配慮して、首都高速道路中央環状線等の環状方向の道路の整備を図るほか、都心と副都心を連絡する道路の整備を図る。



出典：環境影響評価書　首都圏中央連絡道路（一般国道20号～埼玉県境）　昭和61年7月時点